

小牧混声合唱団

第3回演奏会

◆第1ステージ

世界の名曲より

百万本のバラ、おおスザンナ、威風堂々 他

◆第2ステージ

混声合唱のためのカンタータ 「土の歌」

佐藤 眞 作曲 大木惇夫 作詩

Les Misérables

◆第3ステージ

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

ジャン・ヴァルジャン：井原雅則

演奏：中部フィルハーモニー交響楽団

編曲：小塚 聖二

衣裳：(株)エフ・ジー・シー

2010年2月28日(日)
午後3:00開演 (午後2:30開場)
小牧市市民会館ホール
入場料 ¥1,500 全自由席

指揮 吉川 朗
構成・演出 池山 奈都子
ピアノ 竹内 理恵
合唱 小牧混声合唱団

照明：古川 靖
音響：大澤 粒一
舞台監督：大蔵 聡子

Les Misérables

『レ・ミゼラブル』はヴィクトル・ユーゴーが書いた大河小説で、日本では「ああ、無情」の題名で翻訳された。

舞台は19世紀初めのフランス、貧困・犯罪などの社会悪によって悲惨な状況に在りながらも、明日を信じ今日を懸命に生きた、名もなき人々の物語。



小牧混声合唱団

小牧市制45周年(2000年)の第九記念演奏会をきっかけに吉川先生の呼びかけで発足。合唱指導を吉川朗、ピアノ伴奏を竹内理恵、ヴォイストレーナーを武元智子の諸氏を迎え、日本の歌・ポピュラー曲・レクイエム・ミュージカル曲・合唱組曲というジャンルで歌ってきました。

2~3年ごとの自主演奏会、毎年恒例の小牧サマーコーラスフェスティバル、自主活動として慰問演奏・賛助出演・地域や小牧市のイベント等にも積極的に参加しています。団員は中学生からベテランまで幅広い年齢層なので吉川先生のトークと相まって話題が毎回豊富です。指導者の音楽性が団員に浸透し、混声のハーモニーがそれに応えた時が幸せの瞬間です。男声やや少ないのが悩みですが、情熱的で恵まれた指導者と家族の協力に感謝して、毎週楽しく練習しています。



ジャン・バルジャン役 井原 義則

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。ウィーン・ゲーテアニッシェスコンセルヴァトリウム卒業。

オペラ・オペレッタ・ミュージカルなどの大役を数多くこなし、いずれも好評を博す。ミサ曲や合唱のソロも数多く務める。リサイタル・ジョイントリサイタルをはじめ、その他のコンサートも多数。海外でのコンサートも多数。また、オペラ演出家としても好評を博す。第2回名古屋芸術創造賞受賞。第2回名古屋市新進芸術家海外研修員として短期留学。

1989年から3年間、あらためてウィーンに留学。現在、愛知県立芸術大学・名古屋芸術大学・南山高等学校非常勤講師、南山大学エクステンションカレッジ講師。



構成・演出 池山 奈都子

名古屋音楽大学声楽学部卒業。名古屋二期会、名古屋オペラ協会、名古屋市文化振興事業団などのオペラ・ミュージカル公演において数多くの演出家の助手を務める。東京・神戸・広島・札幌・福岡などのオペラ公演にも演出スタッフとして関わり全国へと広がっている。

また、サンフランシスコオペラセンター(名古屋国際音楽祭)ローマ歌劇場日本公演、マカオ国際音楽祭にも演出助手として参加。「オルフェオ」(大阪・静岡公演)で演出家デビュー。「海の子守唄」「聖ちたる天女」「香妃」「カルメン」「愛の妙算」「マグベス」「アイーダ」「ナブッコ」「楳姫」「ラ・ボエーム」「こうもり」「フィガロの結婚」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「ヘンゼルとグレーテル」「道化師」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ねこはしる」。創作オペレッタ「水神」などのオペラや創作オペラ、ミュージカルなどの演出をはじめ、コンサート(ニューイヤーコンサート、オペラの魅力など)、リサイタル、合唱団の公演も手掛けている。

愛知県立芸術大学非常勤講師。



指揮 吉川 朗

愛知教育大学音楽科(ピアノ)卒業。同大学院(作曲)修了。

1990年より2000年までの間に名古屋芸術大学、名古屋オペラ協会、愛知県文化振興事業団、名古屋市文化振興事業団、名古屋二期会などに於いて、40本以上のオペラ、オペレッタ、ミュージカルに携わる。

Parsley(春日井)の音楽ディレクター。アンサンブル風雅(名古屋)、豊明ひまわりコーラス、尾張旭市民合唱団、春日井男声合唱団 指揮。さらに、小牧市民音楽祭、豊明市民フェスティバルなどで企画・構成・演出・指揮をし、独自の世界を創造している。

また、レクイエム合唱団や、宗教曲だけに取り組む混声合唱団R.M.Eを創設。第九指揮は1987年の半田第九に始まり、ナゴヤシティ管弦楽団(現セントラル愛知交響楽団)、一言第九を歌う会、春日井市民第九合唱団、愛環音楽連盟、小牧第九など。

名古屋芸術大学 音楽学部オペラ研究室実技補助員、大垣女子短期大学非常勤講師、NHKナゴヤ・ニューサウンズ・オーケストラ指揮者を経て、現在フリー。



ピアノ 竹内 理恵

愛知教育大学音楽科(ピアノ)卒業。同大学院芸術教育専攻演奏学(ピアノ)修了。ピアノを大塚圭子、櫻本浩明の各氏に師事。

日本ピアノ教育連盟第11回 ピアノオーディション全国大会出場。名古屋市民会館主催第19回新進演奏家紹介コンサート・オーディションにて最優秀賞受賞。フェリーチェ・カンターレ声楽コンペティション2003において伴奏賞受賞。

名フィルメンバークンサーツ、ワルシャワ・フィルコンサートマスターとの共演による「ピアノトリオの夕べ」に出演。愛知教育大学管弦楽団とモーツァルト「ピアノ協奏曲第20番K.466」、小牧市交響楽団(現:中部フィルハーモニー交響楽団)と スクリャーピン「ピアノ協奏曲Op.20」、モーツァルト「ピアノ協奏曲第23番K.488」を共演。

声楽や器楽及び合唱団のピアニストとして活動。現在、桜花学園大学非常勤講師。



中部フィルハーモニー交響楽団

小牧市を本拠とし、周辺地域の音楽文化の向上を目指して2000年2月に小牧市交響楽団として発足した。運営は市をはじめ地元財界、企業、そして多くの音楽ファンの方々を支えられて活動している。

2001年8月、交響楽団としては初となるNPO法人の認証を受けた。2007年1月、さらに活動を大きく、広くするため「中部フィルハーモニー交響楽団」と改名。世界的な名指揮者・秋山和慶を名誉首席指揮者、また我が国指揮界のホープ・吉田行徳を指揮者とし、定期演奏会や依頼コンサートなど数多くの実績を積み重ね、その感動溢れる高度な演奏には高い評価をいただいている。

2009年2月愛知県文化選奨新人賞を受賞。